

「中国残留孤児」問題を考える市民の集い

「わたしたちは なにじんですか？」

—— 日本人としての人権と尊厳の回復を求めて ——

政府は太平洋戦争の敗戦時に満州に置き去りにされた中国残留日本人孤児を長期間放置し、戦後40年以上経てようやく帰国した「残留孤児」に対して必要な支援を行いませんでした。そのために多くの「残留孤児」は日本語の読み書きができず老後の生活や健康に不安を抱えています。

現在、全国の残留孤児の9割以上が国の責任を明らかにするために全国15の地裁で国家賠償訴訟を起こしています。各地の裁判は大詰めを迎えており、12月1日には神戸地裁、来年1月30日には東京地裁で判決が予定されています。

神戸地裁判決を目前に控え、このたび関西（大阪・京都・兵庫）の原告団、弁護団が市民集会を開催することになりました。

是非多数の市民のみなさんに参加していただき、「中国残留日本人孤児」問題についてのご理解とご支援をお願いします。



第1部 劇

「わたしたちは なにじんですか？ 国に翻弄される人生」

出演：大阪・京都・兵庫訴訟の各原告

第2部 ビデオレター

「中国残留孤児国家賠償請求訴訟への思い」(各界から)

日時

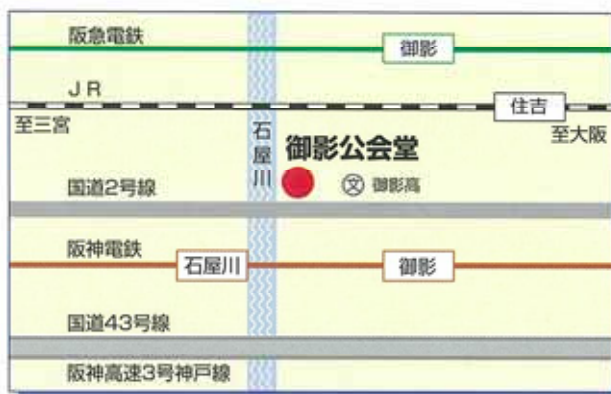
11月18日(土)
午後2時～

場所：神戸市立御影公会堂

神戸市東灘区御影石町
4丁目4番1号

TEL.078-851-2959

交通：阪神電車石屋川駅から
北へ徒歩3分



連絡先

神戸市中央区相生町1-2-1 東成ビル4階 あいおい法律事務所
Tel.078(371)2060 Fax.078(371)2032